

東日本大震災 南三陸町追悼式



東日本大震災から8年を迎えた3月11日。

震災により犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、復興への誓いを新たにするため執り行われた東日本大震災南三陸町追悼式には、ご遺族など約500人が参列されました。

8年という月日が流れても決して癒えることのない悲しみ。

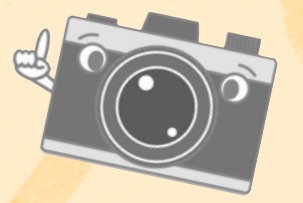
この日は、鎮魂の深い祈りに包まれました。



私が春休み防災無線放送を担当しました

町では、防災行政無線を活用して、春休みの期間中、子どもたちが安全に帰宅できるよう帰宅促進の放送をしています。

今回担当したのは、この春から歌津中学校に入学する三浦玲音さん。「たくさん練習したけど、緊張した」と話してくれた三浦さんですが、はきはきととても聞きやすい声で、練習の成果が現れていましたよ。



ご寄贈ありがとうございました



3月11日(月)本町とパートナー協定を結んでいる(株)楽天野球団様から、楽天生命パーク宮城で使用されていた座席1000席の贈呈セレモニーを役場で執り行いました。

立花社長は、「このような日に寄贈できることを重く感じるとともに、東北の子どもたちが野球を好きになってくれるような取り組みを今後も続けたい」と話されました。

この座席は、今後平成の森野球場に設置します。今季も8月に楽天2軍戦の試合がありますので、皆さんどうぞお越しください。

戸倉カキ部会に日本一の栄冠

2月28日、3月1日に東京で開催された第24回全国青年・女性漁業者交流大会で「持続可能で高品質なマガキの養殖生産～日本初の国際認証(戸倉っ子かき)の誕生～」を発表した宮城県漁業協同組合志津川支所戸倉出張所カキ部会が見事、「資源管理・資源増殖部門」において、農林水産大臣賞を受賞しました。

震災前の戸倉地区では、養殖施設が過密状態であったため、マガキの身入りが悪く出荷するまでに3年間を要していました。

しかし、震災後の再出発に際し、養殖施設台数を3分の1に減らしたことでマガキの身入りがよくなり、1年で出荷できるようになりました。このことにより、所得の向上や労働時間の短縮、後継者の増加にもつながりました。また、二枚貝養殖では国内初であるASC認証を取得するなどの活動成果が高く評価され、受賞となりました。カキ部会の皆さん、日本一おめでとうございます。

